

環境配慮型加工素材ブランド 「HOKUTO」について

小松精練株式会社（本社：石川県能美市 社長：任田賢久）は、『人が安全な素材に囲まれた生活環境づくり・星空が綺麗に見える地球環境づくり』をコンセプトに開発した、小松精練環境配慮型加工素材ブランド「HOKUTO」の導入を行います。

地球環境の保護、保全に対する企業姿勢が問われる中、小松精練は1999年4月に環境循環型企業を目指すため指針として「小松精練環境管理宣言」を掲げ、全社あげて環境への取り組み強化に努めてまいりました。特に、染色加工業は水・エネルギーの多消費産業であり、環境負荷が大きいことから、CO2排出量削減を目指し、節水・省エネに対する設備投資を積極的に行い、さらに、04年には排水処理技術の向上を目指して電気分解及び、膜処理による染色排水の再利用を目指した実証プラントの開発を開始しました。

また、より安全な素材の提供を目指し、小松精練は、使用する薬剤について関係法令よりさらに厳しい自主基準を設け、環境負荷物質や人体への悪影響（発ガン性など）が懸念されている物質などを積極的に排除し、不使用に努めてまいりました。更に、小松精練は最終製品の安全性のみならず、製造工程における排出物にも着眼し、環境負荷物質の排出軽減を目的とした加工技術にも取り組んでまいりました。

これらの取組みのシンボルとして、この度、環境配慮型加工素材ブランド「HOKUTO」を立ち上げます。「HOKUTO」は『人が安全な素材に囲まれた生活環境づくり・星空が綺麗に見える地球環境づくり』をメインコンセプトとし、素材の安全性と、地球環境の保護・保全に向け、全社員一丸となって取り組むべく設定されたものです。

「HOKUTO」とは、第1ステージとして、加工素材が安全であること。これを前提とし、更に第2ステージとして、環境に配慮した製造手法で加工された素材であること、としております。また、「HOKUTO」の認定については社内審査機関を設け、審査をクリアし、小松精練が自信を持って提供できる安全で且つ、環境を配慮した加工素材についてのみ、「HOKUTO」として認定し、その商品には「HOKUTOマーク」を表示します。

今後、この「HOKUTOマーク」をリーフレットや製品添付ラベルなど販促物に表示し、"小松精練の「HOKUTO」ブランドは、安全で且つ環境のことを考えた加工素材"であることをアピールしてまいります。



今回、小松精練環境配慮型加工素材「HOKUTO」の第1弾として、揮発性有機化合物（VOC）の排出量に着眼し、5年前より開発チームを結成し、加工技術の開発に取り組んでまいりました。そして今回、環境配慮型インテリア素材『HOKUTO-G』の製品化に成功し、販売を開始いたします。

『HOKUTO-G』に関する詳細は次の通りです。

環境配慮型インテリア素材『HOKUTO-G』について

「HOKUTO」ブランドのシリーズ第1弾となる環境配慮型インテリア素材『HOKUTO-G』は昨年10月に米国で先行テストセールスを実施し（米国名：GALAX aqua）、今年5月に最終製品が完成し、いよいよ日本国内で販売を開始するものです。

1. 製品化について

これまでに環境負荷を配慮した合成皮革の製造方法として水系タイプのウレタンを使った手法が注目されましたが、従来の水系タイプのウレタンでは均一な膜形成が困難であり、しかも風合いも悪く、耐久性も弱いため、製品化するために多くの企業が、開発に時間を有しておりました。

小松精練は膜を形成する材料に着目し、根上工業株式会社を窓口とした3社の樹脂メーカーと共同で水に分散しやすい特殊水性樹脂を開発し、更に膜製造方法にも改良を加えることで、非常に均一な膜を形成することに成功しました。

製品化に向けては、エコロジーに対して需要度の高い家具用途に絞込み、膜面の強度や耐久性など更なる改良を加え、昨年10月よりテストセールスを開始。消費者のエコロジーに対する関心度の高い米国内の大手家具メーカーと取り組み、これまでに何度も試作を繰り返してまいりました。そして、今年5月に、ようやく米国市場に受け入れられる素材が完成し、ついに日本国内に向けて上市することとなりました。

2. 製品特徴について

1) 『HOKUTO-G』は膜形成時にトルエンといった有機溶剤を一切使用しておりません。従って大気中に放出される

VOC排出量を90%以上削減可能です。（従来当社品対比）

2) 製品中にシックハウスを引き起こすといわれる対象物質（13種）が殆ど残留しません。

*小形チャンバー法（一定面積、一定時間当たり放出される量を測定する方法）での測定結果によるとホルムア

ルデヒド、トルエン、などの対象物質は検出限界値以下です。

3) 製造工程中において規制有害物質を一切使用しておりません。

4) 分子間凝集性を高めた特殊水性樹脂を用いているため、耐加水分解性に優れております。

*1週間が1年の耐久年数に相当する劣化促進試験において10週間異常なし

5) 特殊水性樹脂をベースに、数種類の架橋成分を使用することによって、表面はしなやかで且つ耐摩耗性のある膜

の形成が可能となりました。

*米国規格（ファニチャー向け）であるASTM D4157法の摩耗試験で、荷重3ポンド（1.36kg）10万回をクリアして

おります。

6) 日本国内において、『HOKUTO-G』は



という表記で、リーフレットやラベル展開いたします。

3. 特許について

基本特許 1件

関連特許 2件 計3件、出願済み

4. 『HOKUTO-G』の営業政策について

□営業計画 '06シーズンより

□販売チャネル 海外/国内 有力家具メーカー

□販売計画 初年度 15万m

3年後 50万m

□販売価格 従来当社品に対し50% UP

